

	【科目名】総合的な学習の時間の指導法		Teaching Methods for the Period for Integrated Studies	
【開講学科】	食品生命科学科 環境生命科学科	【必修・選択】	食品生命科学科 専門・選択 環境生命科学科 専門・選択(理科教職・必修)	【単位数】 2.00 単位
	【配当年次】学年指定なし	【開講時期】	2022 年度前期	【オフィスアワー】
	【科目責任者】			
	【担当教員】馬居政幸			
● 授業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・本講義では小中学校「総合的な学習の時間」と高等学校「総合的な探求の時間」に共通する特性を鑑みて、講義時の学習活動、発表、評価などすべての作業をグループ単位にすすめる。 ・まず、「総合的な学習の時間」と「総合的な探求の時間」の目標・内容・実践力の基礎論と「総合的な学習・探求の時間」を必要とする社会的・教育的背景について、小中高それぞれの学習指導要領解説の「総合的な学習の時間編」、「総合的な探求の時間編」、「総則編」をテキストにして学習する。 ・次に、小中高それぞれの総合的な“学習の時間”と“探求の時間”の年間指導計画・単元構成・授業(活動)実践のあり方の類似点と相違点について、指導要領解説と実践記録(TTP と DVD)により学習する。 ・同時並行で、育成すべき児童・生徒の資質・能力と授業(活動)づくりの方法を実践的に獲得するために、グループ単位に単元のテーマを「現代的な課題:食育・健康、防災・減災、貧困・格差、差別・人権、少子高齢・人口減少、外国人労働者・ルーツを異にする子ども、AI・ICT・GIGA・DX・メタバース、diversity & inclusion・LGBTQ・X-gender、Carbon Neutral、SDGs・ESD など」から選び、他教科等との横断的・総合的(連携・合科・協働)学習を組み込む教材研究、単元構成、本時の学習指導・活動案の調査・考察・作成作業を行う。 ・上記過程において、デジタル機器の活用やPPT による表現を重視し、グループ別に学習活動案に基づきオンラインでの学習を組み込んだ模擬授業形式での発表を行い、評価の多元化を試みる。 			
● 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領における小中学校の「総合的な学習の時間」と高等学校の「総合的な探求の時間」の「目標」「各学校において定める目標及び内容」「指導計画の内容と取り扱いを」を、その社会的背景や教育的背景とともに確実に理解する。 ・小中高それぞれの教育目標と発達特性に応じて、児童・生徒が生きる(担う)社会と生活の課題を見出し、多面・多角的な視座からの「探求的な見方・考え方を働かせ」ることにより、望ましい解決を求め続ける資質・能力を育成する学習活動の実践化のために、各教科等で獲得する「見方・考え方」を総合的に活用する。 ・より積極的に学習者個々の個性や成長度に適合した資質・能力育成に導く探求活動として展開するために、各教科等との連携・合科・協働活動を視野において、単元構成と指導(活動)案作成を重視する。 ・さらに、単元構成・指導案作成過程において、学校と教室の内と外での授業(活動)実践と児童・生徒の活動状況に応じた指導、助言、評価を行うための基礎となる知識・技能を学習・獲得するとともに、保護者や学校の外の活動支援者とのネットワーク形成力の育成にも注視する。 			
【授業展開】	<p>第1回:学習指導要領に学ぶ「総合的な学習・探求の時間」の目標と内容(各学校において、とは)</p> <p>第2回:学習指導要領に学ぶ「総合的な学習・探求の時間」の方法(横断的・総合的学習とは)</p> <p>第3回:学習指導要領に学ぶ「総合的な学習・探求の時間」の教育・学習論の基礎 (総則の学習1:「主体的・対話的・深い学び」と「カリキュラム・マネジメント」の必要性)</p> <p>第4回:学習指導要領に学ぶ「総合的な学習・探求の時間」の社会的・教育的背景 (総則の学習2:「社会に開かれた教育課程」と「資質・能力」と「～的見方・考え方」への注目)</p> <p>第5回:「総合的な学習・探求の時間」と現代的な課題の学習(“探求的な学習”から“探求”へ)</p> <p>第6回:「総合的な学習・探求の時間」の小中高別展開例1(活動と体験の位置づけ)</p> <p>第7回:「総合的な学習・探求の時間」の小中高別展開例2(教科書の役割)</p> <p>第8回:「総合的な学習・探求の時間」の小中高別展開例3(地域資源の活用)</p> <p>第9回:「総合的な学習・探求の時間」の小中高別展開例4(他教科・他学年との連携)</p> <p>第10回:「総合的な学習・探求の時間」の小中高別展開例5(評価と学力・資質・能力論への視野)</p> <p>第11回:現代的な課題でのグループ別模擬授業1:ICT、AI、DXの社会的有用性と問題性</p> <p>第12回:現代的な課題でのグループ別模擬授業2:Diversityとcarbon neutral実現可否と是非</p> <p>第13回:現代的な課題によるグループ別模擬授業3:食育と健康寿命(SDGs・ESDの有用性)</p> <p>第14回:現代的な課題によるグループ別模擬授業4:育児と高齢者の支援循環サイクル創り</p>			

	第15回:模擬授業の相互評価による「総合的な学習・探求の時間」の課題の共有化(グループ間の相互評価と馬居の評価をふまえて各グループ発表用PPTを加筆修正してCD1枚に記録・複製。受講者全員と指導教員に配布。次年度の教材とする。)定期試験 模擬授業とCD作成(報告書に相当)にかえる。		
	【評価方法】模擬授業発表時の資料・レジュメ、発表の方法と内容の評価と講義終了後に発表内容と資料とその調査・考察・作成過程の記録も含めてストックしたDVD作成過程の評価を総合して判断する。		
【テキスト】	①小・中・高等学校の学習指導要領解説「総合的な学習時間編」「総合的な探求の時間編」「総則編」、②馬居政幸・角替弘規共編著『人口減少時代の家族・学校・地域・社会—生涯にわたる学びと教える新たな可能性を求めて—』(NSK出版 2017年)を基本テキストとする。①は文部科学省HP「総合的な学習(探究)の時間」 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/sougou/main14_a2.htm よりダウンロード可。②は角替弘規先生の研究室において、通知する日時に特別価格にて販売する。サブテキストについては講義開始時に案内する。		
【参考書】	馬居が主催する小中高等学校の教員との「少子高齢・人口減少社会を支える子を育む社会科と総合的な学習・探求の時間の課題と授業づくり」をテーマにした実践研究による授業記録のVTRやPPT教材を講義とグループ別課題研究の進行に応じて提供する		
	【その他(注意事項)】		
	【授業評価の意見に対する対応】		
	【社会人聴講生】	【科目等履修生】	

馬居です、22年度シラバスと講義日程

2022/03/31 14:04

田辺さま

お世話になります。

2022年度のシラバスを添付します。

送っていただいた21年度版を加筆修正しました。

修正箇所が含まれる文全体を青字にしています。

内容的には、角替先生に、昨日と今日、確認していただきました。

事務手続きの面も含めて問題がないか、改めて、確認をお願いします。

講義日程の変更については、角替先生と相談して、下記のように考えてみました。

教授会承認 ①②4/16 ③④4/30 ⑤⑥5/14 ⑦⑧5/28 ⑨⑩6/11 ⑪⑫7/2 ⑬⑭⑮7/16

修正 ①②③ 4/23 ④⑤⑥5/14 ⑦⑧5/28 ⑨⑩6/11 ⑪⑫7/2 ⑬⑭⑮7/16

講義日を増やすより、講義時間を2回に分けて増やした方が学生にはよいのでは、と判断しての案です。

講義日を増やすとすれば、5月18日になりますが・・・

ご検討の程、よろしくをお願いします。

馬居政幸(UMAI MASAYUKI)

〒420-0067 静岡市葵区幸町2-19

Tel. 054-221-0386 Fax. 054-221-0387

[E-mail:umaimasayuki@gmail.com](mailto:umaimasayuki@gmail.com)

mobile 090-1560-0066

UER-Labo <http://www.uer-labo.jp>
